



第71回青少年読書感想文兵庫県コンクールにおいて、本校二年生の松島煌明さんと山根歩果さんが、《兵庫県学校図書館協議会賞》を受賞し入選しました。㊦おめでとうございます！

松島さんは、『「コード」のぼくが見る世界 聴こえない親のもとに生まれて』を読んで、『「知る」ということ』の作で入選しました。

「リーダー (CODA)」とは「Children of Deaf Adults」をもとにできた言葉で「耳の聴こえない、あるいは聴こえにくい親のもとで育った、聴こえる子どもたち」を意味します。社会において「常識」は日々更新されてます。近年の必須科目はなんといっても「多様性の理解」。

ふだん何気なく使っている言葉が誰かを傷つけていけないか。それを避けるべく「差別と受け取られかねない単語」をせつせと覚えるのは間違った学習法。肝要なのは、自分を含めた「多様な人々同士、気持ちよく暮らすにはどのような思考が必要かを根本的に理解すること。この本は、そうした理解を助ける1冊です。

山根さんは、『豆の上で眠る』を読んで、『疑いの中で見つけた信じる勇氣』の作で入選しました。

「週刊新潮」に連載された、湊かなえさんの長編小説『豆の上で眠る』。この本は、二年間行方不明だった姉が本物かどうか、この一点が物語の核です。本物って、何だろう？

自分には分からない「違和感」を、ストリートではない形で表現するにはどんな言葉があるのだろうという考え、アンデルセン童話「えんどう豆の上にお姫さま」のことを思い出し、そこからイメージを広げて『豆の上で眠る』というタイトルになったそうです。エンドウ豆の上に何枚も敷布団をしいて寝てしまったら、翌朝「ああ、寝苦しかった」という元のお話です。本は想像力の世界。秋の夜長に心の読書をひとついかががでしょうか。

STEAM コンサートの演奏希望者募集中

このSTEAMコンサートは、聴き手と演奏者が交流する場を模索しています。

また、奏者の熱量や音楽がもたらす安らぎや高揚感が、日常に新たな力を与えられたら・・・と思いを込めています。

聴き手もいいけど演奏者として表現してみたいそんなあなた！！
芸術科：音楽担当の田村太郎先生まで相談してみてください♪



★ STEAM Concert ★ ～音楽室のミニコンサート～

フルート協奏曲 Op29 1楽章
by Carl Stamitz



11月13日、穏やかな秋の日のお昼下がり、3年生の田中くるみさんによるフルート演奏会が行われ、大勢の生徒や職員が音楽室に訪れました。澄み渡る音色が奏でられ、心洗われる一時を過ごしました。